

第六十七回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
朝鮮事業公債法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和十年三月六日(水曜日)午前十時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松山常次郎君

理事森田 福市君 理事豊田 豊吉君

實岡半之助君 吉田 頼明君

堤 康次郎君 栗原彦三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣伯爵 兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 櫻井兵五郎君

拓務書記官 小河 正儀君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

○松山委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス、初ニ政府當局ニ於テ提案ノ理由ノ御説明ヲ願ヒマス

○兒玉國務大臣 朝鮮事業公債法中改正法律案ニ於キマシテ、公債發行ノ追加ヲ要スル事項ノ内容ニ付テ、御説明申上ゲタイト

思ヒマス、此改正案ハ朝鮮ニ於キマスル鐵道ノ建設及改良工事ノ追加ヲ要スル爲ニ、昭和十年度以降昭和十四年度マデニ總額九百五十五萬圓ヲ必要トスルノデアリマスガ、其財源ハ現下ノ朝鮮ノ歲計狀況ニ鑑ミマシテ、從來ノ方針通り公債ニ依ル考デアリマスノデ、現行ノ第一條ノ公債發行總額六億六百二十萬圓ヲ六億千五百八十萬圓ニ改メントスルモノデアリマス、追加ヲ要スベキ九百五十五萬圓ノ中九十五萬圓ハ、鐵道建設費ノ追加デアリマス、残りノ八百六十萬圓ハ改良費ノ追加デアリマス、其内容ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、平壤ノ北、順川ヲ起點ト致シマシテ、鴨綠江岸ノ滿浦鎮ニ至ル滿浦線ハ昭和十三年度ニ開通セシムル見込ヲ以テ、目下建設方促進中デアリマ

スルコト、シタノデアリマス、又改良費ノ追加八百六十萬圓ノ中五百五十萬圓ハ、釜山新義州間幹線ノ改良費デアリマス、滿洲國獨立以來內鮮滿ノ交通ハ頗ル頻繁トナリ、貨客ノ往來激増セル爲メ、輸送能力ノ増加ト列車速度ノ高進ヲ圖ル必要ガアリマスノデ、内地、滿洲間ノ幹線タル右京釜京義兩線ノ軌條交換、枕木増設等ノ改良工事ヲナサントスルモノデアリマス

改良費追加ノ中八十萬圓ハ、一昨年カラ南滿洲鐵道株式會社ニ、其經營ヲ委託シマシタ圖們線ノ改良ニ要スル經費デアリマス、圖們線建設當時ニアリマシテハ、滿洲國ノ獨立、羅津港ノ開設等ハ勿論考ヘラレテ居ナカッタノデアリマシテ、其規模モ單ニ北鮮及間島地方ノ物資輸送ヲ目標トシテ建設サレタノデアリマス、然ルニ本線ハ滿洲國成立シ、裏日本ヲ通ジテノ內鮮滿交通ノ幹線トナリマシタ今日ニ於テハ、現狀ヲ以テハ到底運輸ノ機能ヲ完ウシ得マセヌノデ、輸送量ノ増加ニ應ジ得ルヤウ南陽、雄基間ノ驛、路線等ニ改良ヲ加ヘントスルモノデアリマス

次ニ京元咸鏡線ハ京圖線ノ開通ニ依リ、滿洲奧地ト連絡スル主要幹線トナリ、貨客ノ激増ガ豫想サレマスノデ、釜山新義州間ト同係「スピードアップ」及輸送量ノ増加ニ應ズルヤウ、是亦既設路線ノ全般ニ互リ改良ヲ行フノ必要ニ迫ラレ、總額二百三十萬圓ヲ追加スルコト、シタノデアリマス、以上三線ノ改良費合計八百六十萬圓及建設費九十五萬圓、合計九百五十五萬圓ガ今回ノ追加額デアリマス

○森田委員 本案ニ付テハ大シタ質問ハナイノデアリマスガ、一寸簡單ニ聽キタイノハ、朝鮮總督府ノ所管ニ係ル鐵道ハ、全部南滿洲鐵道會社ニ委任經營シテアルヤウニ思フノデアリマスガ、サウデアリマスカ、ドウデアリマスカ、ソレカラモウツ、其收支ノ狀態ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ、其點ヲ御聽シタイ

○兒玉國務大臣 政府委員カラ詳細ニ御説明申上ゲマス

○林政府委員 南滿洲鐵道株式會社ニ委任經營ヲ致シテ居リマスノハ、清津以北ノ國有鐵道デアリマシテ、清津カラ會寧ヲ經テ、

豆滿江沿岸ヲ廻リマシテ雄基ニ出ル環狀路線ダケデアリマシテ、總體ノ杆數ハ約三百杆程度デアルト考ヘテ居リマス、是ハ御承知ノ通り、滿洲國ノ鐵道トノ連絡輸送ノ關係カラ、寧ロ南滿洲鐵道株式會社ヲシテ、滿洲國鐵道ト一體トシテ經營セシムル方ガ適當デアルト云フ見地カラ左様ニ致シ次第デアリマシテ、其他ノ國有鐵道ハ、從來通り朝鮮總督府ニ於テ直營致シテ居ル次第ゴザイマス

ソレカラ國有鐵道ノ收益狀態ノ御尋デアリマスガ、朝鮮ノ國有鐵道ハ、從來産業開發ヲ使命ト致シマシテ敷設ヲシテ參リマシタ關係上、從來ニ於キマシテハ、此收益狀態ハ餘リ良好デナカッタノデアリマス、何レカト申シマスレバ建設費ノ利子相當額ヲ、益金トシテ舉グルノニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ッタヤウナ次第デアリマス、勿論幹線ヲ成シテ居ル京釜、京義線ノ如キハ、相當ノ年所モ經マシタノデ、收益狀態モ大變宜シイノデアリマスガ、其他新線ヲ段々開通サセテ參リマス、此方面ノ收益狀態ガ非常ニ惡イモノデアリマスカラ、總體ト致シマシテ今申上ゲルヤウナ、投資額ニ對スル利子相當額ノ益金ヲ舉グルノニ、困難ヲ感ジテ居ッタト云フヤウナ狀態デア、然ルニ最

近滿洲國獨立以來又一面ニ於テハ、鮮内ニ於ケル産業開發ノ促進ノ結果ト致シマシテ、國有鐵道ニ於ケル收益狀態ハ、最近非常ニ良好ナ成績ヲ示シツ、アルノデアリマス、現在ハ大體ニ於テ總體ノ建設費ニ對スル利子相當額ハ、十分ニ出シ得ルヤウナ狀態ニナリマシタ、今後一層其利益ハ増加スルダラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○森田委員 其點ハ一ツ數字デ現ハシテ載キタイト思ヒマス、ソレカラ拓務大臣ニ御尋スルノデアリマスガ、拓務大臣ハ朝鮮ノコトハ非常ニ御詳シイノデアリマスカラ、都合ガ好イト思ヒマス、私ハ廣島デアリマスガ、關釜連絡船ト連絡スル三等列車ノ中ニハ、殆ド朝鮮人ガドノ汽車デモ滿員デアリマス、是ハ御調ニナッテ居ルカ居ラスカ知ラスガ、吾々ハ日々見テ能ク知ッテ居リマス、澤山内地ニヤッテ來ル、勿論ハ同胞ダカラヤッテ來テモ差支アリマセヌガ、日本ノ内地ノ失業者ヲ救済スルノニ困ッテ居ルノニ、アレダケ澤山押掛ケテ來レバ、是ハ困ッタモノダト、汽車ヲ見ル毎ニ思フノデアリマス、ソレハ要スルニ朝鮮内ニ適當ナ仕事ガナイカラデア、産業ガ開發セラレヌカラ勞力ヲ要セナイ、又其他色々關係デ、

人ガ餘ルカラ斯ウ云フコトニナルノデハナイカ、アノ廣イ朝鮮ニ相當産業ガ開發セラレタナラバ、勞働者ヲ内地ニ送り込マナイデモ、朝鮮内デソレダケノ人ヲ十分ニ使ヘルノデヤナイカ、甚ダシキハ、朝鮮人ニハ許可制度ガアル關係デアリマセウガ、内密デ發動機船デ澤山ヤッテ來テ居ルコトハ御承知デアリマセウ、之ヲ取締ルコトモ宜イガ、ソレヨリモ勞働者ガ内地ニヤッテ來ナイヤウニ、朝鮮ニ仕事ヲ設ケタ方ガ宜イノデヤナイカ、朝鮮ニ農業デアラウト、工業デアラウト、商業デアラウト、産業ノ施設ヲ行ッテ、アチラデ勞力ノ需要ヲ起スヤウニ施設セラレタナラバ、澤山來ナイデアラウシ、又密航モ防グルト思ヒマスガ、斯ウ云フ方針ニ對シテハ、拓務大臣ハドウ考ヘラレテ居ラレマスカ

○兒玉國務大臣 事實ハ只今御質問ノ通りデアリマス、殊ニ最近内地ノ方ガ景氣ガ好イモノデアリマスカラ、朝鮮人ノ内地ニ參リマス渡航數ガ増加セントスル趨勢ガアリマスノデ、内地ニ於テモ朝鮮ニ於テモ、協力シテ成ベク渡航者ノ少クナルヤウニ努力シテ居リマス、御説ノ通り朝鮮ニ於テ成ベク此勞働者ヲ用ヒルト云フ事柄ヲ考ヘルコトモ無論デアリマスルノデ、此點ニ付キマ

シテハ朝鮮ニ於キマシテモ、救濟事業トシテ、相當ノ勞力ヲ使フヤウニ多年努力シテ居ルバカリデハアリマセズ、滿洲ニ對シマスル移民等ニ付テモ、相當ニ手ヲ掛ケテ、内地へ來ル方ノ者ヲ滿洲ノ方ヘ向ケルコトニ努力シテ居リマスノデ、今年ノ豫算ニモ計上シテアルノデアリマス、殊ニ昨年ノ如ク南鮮ノ方ニ水害デモアリマスルト云フト、愈々内地ニ來ヨウト云フ傾向ヲ生ズルモノデアリマスルカラ、是等ノ窮民ハ舉ゲテ滿洲ノ方ニ移住スルヤウナ風ナ計畫モ致シテマリマス、ソレト同時ニ、コチラニ參リマスルコトヲ阻止スル爲ニ、各地方廳ニ於キマシテハ、其點ヲ十分ニ説明モシテ居リマスシ、ノミナラズ相當ノ手心モ加ヘルト云フ事實ハ御承知ノ通りデア、然レマス、而シテ何ガ故ニ朝鮮ノ勞働者ガ内地へ來ル傾向ガ多イカト申シマスルト云フト、一ツハ只今申上ゲマシタル通りニ、内地ノ軍需工業ガ非常ニ起リマシテ、内地ハ景氣ガ好イインダト云フヤウナ、其氣分ガ渡航ヲ唆カスト云フ事情ガ大ニアルノデアリマス、且又内地ノ方ニ於キマシテハ、兎角コチラニ居リマスル古クカラ來テ居ル朝鮮人ヲ使フヨリモ、新シク鮮人ヲ呼ンデ使フ方ガ使ヒ宜イモノデアリマスカラ、渡航ヲ誘

フト云フヤウナ氣味モアリマスノデ、隨テソレ等ノ事情ガ綜合致シマシテ、十分ナ效果ハ擧ゲ得ナイノデアリマスルケレドモ、大體ニ於キマシテ今御心配ニナルヤウナ點ヲ阻止スル爲ニ、内外相應ジマシテ其勢ヲ阻止スルコトニ努力シテ居ルノデアリマス、此問題ハ可ナリ其統治上機微ニ觸レテ居ル點モゴザイマスルノデ、只今御話ヲ申上ゲマシタ點位デ御諒解ヲ願フデ置クト仕合ダト思フデ居リマス

○森田委員 拓務大臣ノ御話デ、大體私モ御話ノ通りダト思フノデアリマスガ、ドウモ此内地ニ古クカラ來テ居ル鮮人ガ宜クナイト云フ御話モ私ハ同感ダ、是ハドウモサウシタ新シイ者ガ使ヒ易イカラ、此方デ呼ブカノ觀ノアルコトモ同感デアリマス、而モ斯ウ云フ傾向ノ多クナッタコトガ、モウ明ニ現レテ居ルノハ、例ノ屋外勞働災害扶助法ト云フモノガ行ハレテ居ル、古クカラ來テ居ル鮮人ガ新シイ鮮人ヲ呼寄セテ、サウシテ災害工事ナカニ從事サシテ、内々ニ來イト云ウテ、何處デモ此問題ガ起ルカモ知レマセヌガ、ドウ云フ譯デアルカ知ラヌガ、兎ニ角アノ災害扶助法ニ依ッテ扶助ヲ受ケル勞働者ノ九九%マデハ鮮人デアリマス、サウヤッテ働カズニ儲ケサシテ行クヤ

ウナ計畫ガ多イノデ、モウ慣レテ來タ者ハ、考ヘテ其手ニ掛カラナイケレドモ、慣レナイ朝鮮人ハ皆サウ云フ風ニ掛ッテ居ル、内務省ノ社會局デハ一番能ク分ッテ居ルト思フノデアリマス、デアルカラ來テ居ル者ハ、何處ノ國ノ人間デモ、善イ者モ惡イ者モアル、世ノ中ガサウ云フ傾向ガアルカラ、一層其方面カラ考ヘテ見デモ、新シク來サス人間ヲ犠牲ニシタリ、ソレヲ木偶ノ坊ニ使ッテ、金儲ヲシテ行クヤウナ者ガアルカラ、餘程一ツ當局ハ注意シテ貰ヒタイノト、今ノ

御話ノヤウニ滿洲方面ヘノ移民ハ、勿論日本人ヲ滿洲ヘノ移民トシテ、内地人ヲ出スヨリモ、鮮人ヲ出ス方ガ生活ノ點ニ於テモ適當デアルト考ヘテ居リマス、又モウ一ツハ私ハ斯ウ云フ點モ矢張急ガナケレバナラヌノデハナイカト思フ、私ハ朝鮮ノ事情ヲ能ク知ラヌガ、朝鮮ノ子供ニハ全部ニ教育ヲ施ス、内鮮融和ヲ圖ル爲ニハ教育ガ第一デアルガ、其小學校教育ヲ施スダケノ校舍ガナイ、子供ヲ全部學校ヘ入レルコトガ出來テ居ナイ、何分ノ一カラ入レテ居ル程度デアルト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、其點ハ噂ハサウデアアルガ、事實ハドウデアアルカ、全部内地ノ如ク義務教育ヲ施サル、年齢ニ達シタ者ハ、全部小學校ヘ入レ

ルコトニナッテ居ルカドウカ、ナッテ居ラヌノデヤナイカト思ヒマスガ、其點ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ

○兒玉國務大臣 段々ト普通教育モ普及シテ參リマシテ、今日ニ於テハ一面一校主義ト云フノヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、併シ今申上ゲマシタ通りニ、義務教育ヲマダ施行シテ居リマセヌ、隨テ全部ノ學齡兒童ヲ收容スルト云フ迄ニ立至ッテ居リマセヌ、今就學兒童ハ二割三分位ノ程度ダサウデアリマス

○森田委員 ドウカソレハ矢張義務教育ヲ施サヤウニシテ貰ヒタイ、又其義務教育制ヲ採ラヌニシテモ、子供ダケハ全部小學校ヘ入レテ、矢張言葉カラシテ教ヘテ行ッテ、内鮮融和ヲ圖ルノニハサウ云フコトガ私ハ一番大切ナノデヤナイカト思ヒマスカラ、其方ニ御留意ヲ願ウテ、早ク實現シテ戴キタイト云フ希望ト、モウ一ツハ餘リ深入セヌ方ガ宜カラウト云フ拓務大臣ノ御話ガアリマシテ、私モ同感デアリマスカラ、御話致シマセヌガ、兎モ角關釜連絡ノ汽車ガア、云フ風ニ滿員ニナルヤウニ乗ッテ居テ、臭クテ堪ラヌ、中ニ一寸入ッテ行クト非常ニ臭イ、私方ニ出入スル者ガ、汽車ニ乗ルノニ不愉快ダト云フ、ドウシテカト云

フト、ドウモ汽車ニ乗ルト臭クテヤリ切レヌ、周圍ガ斯ウ云フ風デアアルカラト云フノデアアル、ソレハ事實カドウカ、私モ二三回乗ッテ見タガ、噓デナイ、一寸乗ッテモ噓デヤナイ、アレデハ誰ガ乗ッテモ困ル、デアアルカラサウ云フ衛生方面ニモ少シ朝鮮ノ方デ注意シテ貰ヒタイ、ア、云フ風ニ乗ッテモ、同ジヤウナ臭ヒノスルヤウナ程度ニナルヤウニヤッテ貰ラウタラ宜イデヤナイカ(笑聲)其邊ハドウカ一ツ宜シク願ヒタイ、兎モ角根本對策トシテハ、一ツア、澤山ヤッテ來ヌデ宜イヤウニ、滿洲ヘ移民トシテ出サレルノモ結構デアリマス、其他朝鮮内ニ於テ相當ナ事業ヲ興シテ、勞働ノ需要ヲ喚起スル方法ヲ一ツ考慮シテ戴キタイト云フ程度ニ止メテ置キタイト思ヒマス、今一ツ是ハ拓務大臣カラデモ、政務總監カラデモ宜シイガ、御答願ヒタイ、朝鮮内ノ事デアリマスガ、登記所ニ於テ、コチラデハ區裁判所デアリマスガ、アッチハドウ言ウデ居ルカ知ラヌガ、登記所ニ於テ擔保ナドニ田地ヤ不動産ヲ入レル、サウシテ登記スル、サウシテ登記シテ貰フ人間ハ善良ナル國民デアル、登記スルト云ウテ判ヲ貰フ、登記ノ謄本ヲ貰ッテ、割印モアレバ、總テ正式ニ出來テ居リマスガ、ソレガ事實ハ唯債務者ト共謀

ヲシテヤル、サウシテ善良ナル國民へ多大
ナ損害ヲ掛ケテ行ク、其加害者ハ、其登記
出張所ノ所長デアル、是ハ何カ話ニ聞ク所
ニ依ルト、官吏ハソナ事ヲシテモ責任ハ
ナイノダ、ソレハ行政上ノ責任ハアルケレ
ドモ、財産上ノ損害ヲ及ボシタ責任ハナイ
ト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルヤウニ聞ク
ノデアリマスガ、私ハソレ等ノ行爲ハ、徳
義上サウ云フコトハ大變ナコトダと思フ、
小使ガヤッタカ、雇ガヤッタト云フナラ別
トシテ、登記所ノ所長ガソレヲヤルト云フ
コトハ、私ハ日本ノ法律デハ責任ガアルト
思フノデアリマス、登記事務ニ判ヲ捺シテ
貰フ、登記ノ謄本モアッテ、ソレガ正當ナ手續
ガ出來テ居ッタ場合ニ、ソレ以上ヲ疑ウテ調
ベル機關ハ整ウテ居ラスコトハ御承知ノ通
リデアリマス、サウシタ場合ニ、間違ッタ場
合ニ責任ガナイト言ウテ逃ゲラレルノデア
リマスカ、此點ハ一ツ責任ノアル御答辯ヲ
願ヒタイと思ヒマス

○兒玉國務大臣 只今ノ問題ハ一ツ能ク取
調ベマシテ、御答ヲ申上ゲマス

○森田委員 結構デアリマスガ、ソレデハ
マダ御承知ナイヤウデアリマスカラ、アレ
ヲ御承知ナケレバ大變ダと思ヒマスカラ、
私カラ御參考ニ詳シク申上ゲマセウ、朝鮮

ニハ官選ノ道會議員ト云フモノガアッテ、其
者ハ總督府モ信用シテ居ル譯デアル、道會議
員ト云フノハ、信用ノアル者デナケレバ推
薦シナイカラ信用ガアル、ソレガ田地ヲ五
六百町歩ダカ、三百町歩ダカ持ッテ居ッ
内地人カラ借款ヲスル爲ニソレヲ擔保ニ入
レタ、不動産ヲ擔保ニ入レテ借款ヲシタ、内
地人ハ登記ヲシテ、登記謄本マデ取ッテ、登
記役場デモ間違ナイト云フノデアルカラ、
ソレヲ信ジテ金ヲ渡シテ取引ヲシテシマッ
タ、所ガ後デ調べテ見ルト、其田地ハ既ニ
他ニ一番ニ番抵當ニ入ッテシマッテ居ル、何
カノ關係デ總督府ダケガ信用シテ居ル人間
デアッテ、官選ノ道會議員マデシテ居ルケレ
ドモ、事實上ハ信用ハナイ、而モ登記所ノ
所長ガ其人間ト——登記所ノ所長ハ何デモ
其筋カラ指圖ガアッテヤッタト云フノダガ、
ソレハ事實カドウカ、證據ノアルモノデア
リマセヌカラ分リマセヌガ、兎モ角其登記
ヲ完全ニシ、登記謄本マデ下附シタノダガ、
ソレガ全然嘘デアル、既ニ一番ニ番ニ
モ抵當ニ入ッテ居ッテ、判ヲ捺シタノモ、謄本
ヲ下附シタノモ嘘ナンデアル、唯登記所ノ
所長ト云フ位置ヲ利用シテ、官印ヲ使ッテ、恰
モ本當ノ物ト間違ノナイヤウニシテ渡シタ
譯デアル、事實ハサウデアル、私其人ニ聞カ

レタコトガアルガ、官吏ノヤッタコトニハ
何トカ云フ規定ガアッテ、行政上ノ責任ハア
ルケレドモ、物質上ノ責任ハナイ、損害ナ
ド負ハヌラシイ、所ガ斯ウ云フノデス、サ
ウスルト詰リ小使ヤ雇ガ、登記所長ノ判ヲ
盗ンダト云フコトガ、是ハ内地デモアルコ
トダガ、所長自ラガサウ云フコトヲヤッタ
場合ニ、事實デアアルカ否ヤヲ調査スル方法
ハ、何ニ依ッテスルカ、ソレハナイ、御承知
ノヤウニ内地ノ登記所モ其通りデアアルガ、
登記シテ判ヲ貰ッテ、登記謄本ヲ下附シテ
貰ッテ、ソレガ事實デアアルナラバ、ソレ以
上ノ調査ノ方法ハ今ノ法規法令デハナイ、
サウスルト登記所ノ所長ガ——朝鮮總督府
ガサウ云フ者ヲ使ッテ居ッタコトニ對シテ、
而モソレガ官吏ガヤッタコトデアッテ、不正
デアアルガ、物質上ノ責任ハ負フコトハ出來
ヌ、斯ウナッテ來ルト、何カ法規ノ改正デモ
スルカドウカセヌト、其登記所ノ所長ガ嘘
ヲスルノヲ防グ方法ヲ作ラナケレバナラ
ヌ、今ノヤウナコトデヤッテ置ケバ、善良ナ
ル國民ハ多大ナ損害ヲ蒙ル、是ハ此委員會
開會中ニ能ク御調査ニナッテ、御答ヲ願ヒタ
イ、私ハ本人カラ詳シク名前マデ聞イテ居
ナイガ、何デモ此登記所ノ所長ハ、熊本縣
人ダト云フコトデアル、今ノ登記申請ヲシ

タ男ハ、朝鮮ノ京畿道ダカノ官選道會議員
デ、今監獄ニ入ッテ居ルサウデス、サウ云フ
ヤウナ詐欺ヲ澤山働イテ、未決デセウガ入ッ
テ居ルト云フ話デス、デアリマスカラ、其
點ニ對シテ私ハサウ云フ風ノコトガアッ
場合ニハ、單ニ其人間ヲ免職シタリ、解職
シタリスル程度デ責任ヲ免レル程度デア
ルト、登記所ト云フモノ、建前ヲ變ヘテ行カ
ナケレバナラヌ、登記所ノ雇トカ、小使ガ
ヤッタノトハ違フ、自ら登記所長ノ判ヲ使ッ
テヤッタノデアアル、而モ判印ヲ取ッテ、登記
謄本ニモ綺麗ニ判印ガアル、此點ハ十分ニ
御調査ニナッテ、此委員會ノ開會中ニ一ツ御
答ヲ願ヒタイと思ヒマス、私ノ質問ハ、今
日ノ所ハ此程度デ終リマス

○林政府委員 先程御尋ノ鐵道ノ收益狀態
デアリマスガ、御手許ニ差上ゲテ居リマス
鐵道狀況ノ八十七頁ニ大體ノ狀況ヲ載セテ
アリマシテ、昭和五年、六年ハ非常ニ收益
狀態ガ減リマシテ、五年ガ大體ニ於キマシ
テ約一千萬圓ノ益金ニナッテ居リマス、ソレ
カラ六年度ハ九百萬圓、七年度ニナリマス
ト、一千二百餘萬圓、八年度ガ千六百九十
餘萬圓、九年度ハ茲ニ上ゲテ居リマセヌガ、
八年度ヨリモット益金ノ狀態ガ良クナッテ居
ルト思ッテ居リマス、是デ御了承ヲ願ッテ置

キタイト思ヒマス

○松山委員長 栗原君、堤君ノハ之ニ關聯シテ居ルサウデスカラ、先ニ許シマス

○堤委員 只今森田君ノ御質問ノ、朝鮮人が成ベク内地へ餘リ來ナイヤウニシタ方が宜カラウト云フコトデ、私モソレハ非常ニ御尤ナ議論ダト思フノデアリマス、内地ハ矢張今デモ失業者ガ三十萬人以上アルト云フ統計ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、ソコへ朝鮮人が續々内地へ渡航スルト云フコトハ、内地ノ勞働者ニ非常ニ脅威ヲ與ヘルコトデアルノデアリマス、汽車ノ中ガ臭イ位ノコトハ、我慢モ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、内地ノ勞働者ガ生活ノ脅威ヲ受ケルト云フコトハ、是ハ非常ニ重大ナコト、思フノデアリマス、ソコデ朝鮮ニ居ル日本人ヲ内地へ移住サセヌヤウニシタラドウカ、何モ彼等ト雖モスキ好ンデ内地へ來タガ爾譯デハナイ、矢張食ヘヌカラ來ルノデアリマスカラ、食ヘルヤウニスルト云フコトガ必要デアル、ソコデ今圖面ヲ此處デ拜見シテ見タノデアリマスガ、大分マダ未成線ト云フモノガアリマシテ、此圖面ヲ見マスト、交通ノ大幹線ニナッテ、必要缺クベカラザルモノ、ヤウニ思ハル、ノデアリマス、是等ノモノヲ、年度割カ何カデアリマ

セウガ、之ヲ繰上ゲテ、サウシテ急ニ斯ウ云フ事業ヲスルト云フコトガ、最モ必要ナルコトデアラウト思ハレルノデアリマシテ、是ハ鐵道局長カラデモ、政務總監カラデモ宜シウゴザイマスガ、ドウ云フ年度割ニナッテ居リマスガ、例ヘバ何年間ニドノ位ノ公債ヲ發行シテ事業ヲヤル積リデアルト云フヤウナ、極ク大體ノコトヲ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○林政府委員 朝鮮ノ鐵道ノ將來ノ計畫デアリマスガ、只今計畫致シテ居リマスノハ、昭和十年度以降十六年度マデノ繼續費ト致シマシテ、總額一億六千八百餘萬圓ヲ昭和十年度以降ニ支出スル計畫ニ致シテ居リマス、昭和十年度ハ公債ノ總額ガ二千四百萬圓デアリマスガ、將來ニ於キマシテハ、モウ少シ之ヲ増額致シマシテ、大體二千七百

萬圓程度位ノ公債ヲ出シテ建設事業ヲ促進致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通り、此公債ノ問題ニ付キマシテハ、内地ノ一般會計ニ於キマスル關係モアリマシテ、公債總額ヲ決メマスコトニ付テ、年々相當ニ困難ヲ感ジテ居ル次第デアリマスガ、朝鮮ダケノ立場カラ申上ゲマシレバ、出來得ルダケ此金額ノ増額ヲ御願致シマシテ、一年モ早く未完成ノ路線ヲ完成致

シタイト云フ積リデ居ルノデアリマス、現在ノ所ノ計畫ト致シマシテハ、左様ナ年割ヲ以テ進ンデ行クコトニ致シテ居ル次第デゴザイマス

○堤委員 十年カラ十六年マデニ一億六千萬圓ダト云フト、一年ニ三千萬圓ニハ足リナイ計算ニナッテ居リマスルガ、今日迄ハドノ位ノ割合デ建設ヲシテ居ラレタノデアリマセウカ、今日迄ト申シテモ、最近茲四五年間ノ極ク大體ノ數字デ宜シウゴザイマス

○林政府委員 大體ハ從來千七百萬圓程度ノ公債ヲ出シマシテ、鐵道建設ニ當ッテ居ッタノデアリマス、昨年モ千八百萬圓デアリマシタ、本年ハ此改良工事ノ追加等モアリマスノデ、金額ガ増シマシテ、二千四百萬圓ト云フコトニナッテ居リマス

○堤委員 今日迄ト、是カラトノ比較ヲシテ見マスルト云フト、サウ著シキ差異ガナイヤウデアリマスガ、要スルニ今日迄ノ程度ニ於テハ、朝鮮人が朝鮮ニ於テ働ク機會ガナカッタ、尤モ働ク機會ト云フモノハ、鐵道工事バカリデハアリマセヌケレドモ、併シ朝鮮人が内地へ來テ働イテ居ルノヲ見ルト、大抵ハ鐵道工事が多イノデアリマス、トコロヲ抑ストカ、土ヲ取ルトカ、單純ナ

勞力ニ朝鮮人が適シテ居ルノデアリマスカラ、朝鮮人ノ勞力ヲ使フト云フコトハ、私ハ鐵道工事が一番適シテ居ルノデバアルマイカ、ソコデ朝鮮ニ於テ未成線ヲ速ニ完成サスト云フコトハ、是ハ唯鐵道工事ヲ進メテ、交通ノ便宜ヲ圖ルト云フ交通政策バカリデナク、是ハ非常ニ重大ナ關係ガアルト思ハレルノデアリマス、ソレハ最近内地ニ於テ政治問題ノ殆ド中心トナッテ居ルノハ、米穀問題デアリマスガ、此米穀問題ナドモ、私ハ今提案サレテ居ル案ナドハ、是ハ餘程愚ナ案ダト思ッテ居ルノデアリマス、ソレハ唯穫レタ米ヲ一時農家ノ手デ保管ヲシテ置イッテ、是ハ何ニモナラヌ、消費ヲ増加サスト云フコトガ必要ナング、併シ内地人ハ米ヲ食フコトヲサウ獎勵シタッテ、大抵必要ナダケハ皆食ッテ居リマスカラ、サウ大シタコトモナイダラウガ、朝鮮人ナドハ、米ノ消費ト云フモノハ非常ニ少イ、最近ノ統計ヲ聽イテ見マスルト云フト、内地人ガ一人平均一石八升七合食フノニ、朝鮮人ハ四斗七升三合、丁度半分デアアル、朝鮮人ハ小食カト言ヘバ、法シテ小食デハナイ、内地人ヨリモ寧ロ大食デアアル、其大食ノ人間ガ、内地人ノ半分ヨリ食ハヌト云フノハ、是ハ食ハヌノデハナイ、食ヘナイノデアアル、デ

アルカラ朝鮮ニ居タツテ食ヘナイカラ、日本ノ内地ニ行ケバ、或ハ食ヘルコトニナルカモ知レヌト云フ、淡イ希望ヲ有ツテ、續々ト内地ヘ流レシメ來ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、是ハ唯鐵道政策ト云フ見地カラノミデナク、是ガ米穀政策ニモ影響ヲ致シマスルシ、又新附ノ民ヲシテ饑エザラシムル政治ヲスルト云フ、日本ガ將來伸ビテ行ク爲ニハ、統治ノ根本ニモ影響スルノデアリマスカラ、是ハ餘程努力ヲセラレマシテ、此ノ鐵道ノ未成線ノ完成ト云フコトニ付テ、速ニ達成スルヤウニセラル、コトガ必要ダト思フノデアリマス、公債モ内地ニ於テ中々困難ダト云フヤウナ、今御説明デアリマシタケレドモ、併ナガラ近頃ハ大分公債モ多ク出テ居リマス、今年即チ十年ナンカニモ赤字公債デモ五億四千萬圓カラアルト云フ譯デアツテ、國策上必要ナモノデアレバ、公債ノ發行ハ決シテ恐ルベキモノデアナイ、亞米利加邊リデモ、茲三年間ニ百億弗カラ公債ヲ増發シテ、盛ニ事業ヲヤツテ、サウシテ之ニ依ツテ景氣ヲ回復スルト云フ有名ナ「エヌ・アール・エー」ト云フヤウナ政策ヲ執ツテヤツテ居ルノデアリマス、是ハ獨リ我國ダケデモナク、亞米利加ニ於テモ盛ニヤツテ居ル政策デアリマスシ、今宇垣總督

ノ信望ヲ以テ、政務總監ナリ財務局長ナリガ十分努力セラレテ、拓務大臣ノ威力ヲ以テ、閣議ヲ押シテ行カレタナラバ、朝鮮ノ事業公債ノ發行ナゾハ五千萬圓ヤ、一億圓ハ、サウ困難ナモノダト私ハ思ハナイノデアリマス、要スルニ是ハ其大局カラ眼ヲ著ケテ、之ニ十分ノ努力ヲセラレタイ、マダ現在ノ有様デハ、私ハ拓務大臣ナリ、各當局ノ實力ト成績トヲ較ベテ見マシテ、マダ努力ガ足りナイ、モットヤレバ出來ルンデヤナイカト思フノデアリマスガ、マアドノ位今迄サウ云フ方面ニ拓務大臣ナドハ力ヲ入レテ居ラレタカ、一ツ今迄ノ經過ト、サウシテ將來之ニ對シテノ御方針ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 堤君ノ詢ニ御好意アル御注意感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、今ノ御注意ニ從ヒマシテ、精々一ツ一層ノ努力ヲ致シマシテ、御期待ニ副フヤウニ致シタイト思ウテ居リマス、今ノ朝鮮人ノ渡航問題、ソレカラ朝鮮ノ鐵道ノ促進、洵ニ御尤ノコト、考ヘテ居リマスルノデ、只今御話ノアリマシタ御趣旨ニ能ク順應致シマシテ、勉強シテ一ツヤリタイト思ウテ居リマス、ドウゾ其點ニ付テ堤君モ能ク御承知ノコト、思ヒマスノデ、出來ルダケ御援ケヲ願ヒタ

イモノダト、斯ウ思ウテ居リマス

○森田委員 一寸今ノ堤サンノ御話カラ私ハ氣ガ付イタノデアリマスガ、幸ニ朝鮮ノ總督府ノ鐵道關係ノ方モ居ラレルデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ席デ私ハ申上ゲテドウカト思ヒマスガ、今ノ朝鮮ノ鐵道ノ未成線ナドヲ早ク繰上ゲテヤラレルコトハ、私ハ同感デアリマス、サウ云フ風ニヤツテ、勞力ノ需要ヲ増シテ行クヤウニセラレタイト云フコトノ說ニ同感デアリ、サウ希望スルノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ此朝鮮ノ鐵道ヲ敷設スルニ際シテ、本當ニ朝鮮ノ勞働者ニ、アノ掛ケタ金ダケヲ使ハウト思ハル、ナラバ、是ハ工事ノ直營ヲヤレバ、私ハ相當ニ線モ延ビルシ、比較的、料ト言ヒマスカ——昔デ言フタラ、一哩當リノ建設費モ從來ヨリモ何割カ安クナッテ行クカラ、隨テ同ジ金額デ料數ガ殖エテ行クノデアリマス、ソレカラサウシテ行クコトニ依ツテ其落チル金ガ殆ド朝鮮ノ勞働者ニ——鐵道工事等ハ御承知ノ通りニ殆ド勞働賃デアリマスカラ、其勞働賃ガ殖エルダケ、ソレダケ勞働者ノ需要ヲ多ク喚起スルコトハ申ス迄モアリマセヌ、今ノ鐵道工事ノ遣方ハ、私ハドウカト思フ、朝鮮ノ鐵道ハ御承知ノ通りニ、一部ノ人々ガ行ッテ工事ヲ請負フノ

デアツテ、サウシテ特定ノ人間ニヤラセルノデアルガ爲ニ、アソコハ非常ニ料當リノ歩合ガ高ク付イテ居リマス、俗ニ謂フ談合トカ云フノガアルノカ、ナイノカ私ハ知りマセヌガ、朝鮮ハ非常ニ盛ナモノデス、是ハ今デモ裁判ノ進行中ノモノガアル筈デアアル、アル筈ナノデアアルガ、ソレモ懲リズ、朝鮮ノ鐵道工事ヲ一度請負ヘバ、大體三割カラ四割ハ拔ケルト云フノハ、要スルニ其施行ノ方法ガ、私ハ豫算ヲタツプリ盛リ過ギテアルト云フカ、豫算ガ盛リ過ギテナイナラバ、ドウ云フ關係デサウ云フ利益ガ彼處ニ多イノカ私ハ存ジマセヌガ、其點ハ餘リ詳シク言ハヌデモ、當局デモ殆ド氣ガ付イテ居ルコトデアリ、其處ニ氣ガ付イタナラバ、何トカ此方面ノ改善ヲサレタナラバ、同ジ金額デ哩數ガ殖エ、勞働者ヲ多ク使フコトガ出來ル、ソレニハ直營ガ一番宜イノデヤナイカ、直營ニスルコトニ依ツテ勞働者ノ數モ殖エ、ソレダケノ金ヲ殆ド勞働者ニ振向ケルコトガ出來ル、何割持ッテ逃ゲルニセヨ、ソレダケノ金ハ勞働者ヲ使ッテ居ナイコトニナリマスシ、鐵道ノ哩數モ減ッテ行クコトニナルカラ、此點ハ私ハ露骨ニ詳シク申シマセヌガ、當局ハ本當ニ能ク考ヘラレテ、朝鮮ノ勞働者ヲ多ク

使ッテ、鐵道ノ哩數ガ殖エル手段方法ヲ、御執リヲ願ヒタイモノデアルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、併ナガラ若シ當局ガソソナコトハ一向分ラヌト仰シヤルナラバ、私ハナンボデモ詳シク裏面ヲ素破抜イテ申上ゲテモ差支ナイガ、私ハサウセヌ方ガ宜イ、サウスルヨリモアナタ方ノ方デ注意セラレテ、サウ云フ弊害ヲ除イテ、私ガ今言フヤウニ、勞働者ヲ少シデモ多ク使フヤウナ方法ヲ執ッテ行クコトガ、國家ノ爲デモアリ、朝鮮勞働者ノ爲デモアル、斯ウ考ヘマスカラ、一寸氣付イタ儘一言申上ゲテ置キマス、

○櫻井政府委員 私ノ説明ハ全ク蛇足ニ過ギナイノデアリマスケレドモ、拓務行政ニ非常ナ好意ヲ以テノ前拓務政務次官ノ御質問デアリマシタカラ、其中ノ一二點ニ付テ一寸補足的ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、鮮人勞働者ノ内地移入ノ問題ニ付キマシテ、森田君竝ニ堤君カラノ御説ガアッタ譯デアリマスガ、是ハ私ハ經濟問題トシテ考ヘラルベキ問題デアルト思フノデアリマス、全ク一視同仁ノ下ニ於キマスル所ノ同胞ガ、ドチラヘ往來スルト云フコトモ、是ハ問題ニサルベキコトデナイト思ヒマスカ、唯安イ勞力ガ内地ヘ流レ込メ、内地ノ

勞働者ノ安定ヲ害スルト云フ場合ニハ、政府トシテ何トカ考ヘナケレバナラヌト云フコトモ、起リ得ル問題デアリマス、併ナガラ此場合ニ於テ考フベキ所ノ根本ノ問題ハ、矢張ドウシテモ鮮人勞働者ノ生活程度ヲ、引上ゲルト云フコトガ一番根本ノ問題デア、人爲的ニ色々ナコトヲ考ヘマシテモ、結局防ギ切レナイ問題デアラウト思ヒマス、鮮人ガ好シデ來ルバカリデナク、内地ニソレダケノ經濟的需要ガ起レバ、矢張ソレニ引付ケル力ガアルノデアリマス、獨リ其點カラ考ヘマスノミナラズ、ドウシテモ是ハ朝鮮ノ生活程度ヲ内地同様ニ引上ゲルト云フコトハ、一刻モ早く其方法ヲ盡サナケレバナラス、詰リ鐵道建設ヲ促進シロト云フ御趣旨ハ、其點ニアルト考ヘルノデアリマス、全ク今日ノヤウナ產業情勢ノ上向イテ居ル場合ニ於キマシテ、既定方針以上ニ朝鮮ノ鐵道ヲ促進スルト云フコトハ、確ニ考ヘラルベキ問題デア、當局ガ篤ト考慮シナケレバナラヌ問題デアルト考ヘルノデアリマスガ、其問題以外ニ於キマシテモ、朝鮮ノ最近ノ情勢ハ、滿洲ノ經濟開發ト共ニ、内地ト滿洲トノ中間ニ在ル朝鮮ガ、經濟的ニ非常ナ好影響ヲ受ケマシテ、相當内地ノ事業ノ色々ナ「ブララン」モ出來、又金

鑛業デアルトカ、其他或ハ港灣ノ修築デアルトカ、大分朝鮮ノ經濟界モ振興ヲ見テ居ル情勢ニアルヤウナコトモ事實デアルト信ジマス、ソレノミナラズ、又一ツ茲ニ問題ガアルト思フ、生活程度ヲ眞ニ上ゲマスニハ、一ツヤニツノ方法デハイケナイ、産業全體、土木、交通、金融、有ユル方面カラ考ヘテ、朝鮮ノ生活程度ヲ向上スルヤウニシナケレバナラヌト云フコトデアラウト思ヒマスガ、幸ニシテ從來ドウモ我國ハ物資ガ乏シイ、天然資源ガ乏シイト謂ハレテ居リマシタ中ニ、外地ニ於キマシテハ、堤君モ御承知ノ通り、幾多ノ天然資源ガ、從來考ヘラレナカッタモノマデ有望視セラレルモノガ發見セラレテ參ッテ居リマス、朝鮮ニ於キマスレバ、輕金屬ノ原料ダトカ、茂山ノ鐵モマダ多クハ知ラレテ居ラナイカモ知レマセヌガ、一朝有事ノ場合ニ於テハ、我國國防ノ安固ヲ期スル鐵ノ原鑛ハ全ク茂山ニ依ッテ確保サレルト云フマデニ、今ハ認識セラレテ來テ居ルト思フノデアリマス、隨テ斯ノ如キ天然資源ノ開發ニ依ッテ、朝鮮ノ經濟ノ振興ヲ齎スコトガ出來ルト思フノデアリマス、唯奈何セン、財政ノ關係上思フヤウニ仕事ガ出來ナイ所ノ現狀デア、ルカモ知レマセヌガ、動モスレバ財政ニ於テ消極

的ナ考ヲ有ッテ居ルノデハナイカト謂ハレテ居ル、而モ民政黨ノ財政ノ代表者ノ一人デア、ル所ノ堤君カラ場合ニ依ッテハ公債ヲ出シテモ宜イト云フ御話モアル位デアリマスカラ、外地行政ニ當ル者ハ意ヲ強ウシテ是等ノ計畫ヲ爲シテ、一日モ早く朝鮮ノ全般的ノ生活程度ヲ高メテ、今御話ノ如キ勞力ニ依ル所ノ御心配ハ速ニ除カナケレバナラスモノデア、ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、全ク蛇足デアリマスケレドモ、御好意アル所ノ御質疑ニ對シテ一言附加ヘマシタ次第デアリマス

○堤委員 只今ノ櫻井政務次官ノ經綸抱負ヲ伺ヒマシテ、非常ニ意ヲ強ウスル者デアリマス、申スマデモナク、總テノ產業ノ開發ハ、鐵道建設ガ根本ヲ成スノデアリマスカラ、速ニ此計畫ヲ實現セラレマシテ、サウシテ勞力ノ内地ヘ來ル位デナク、寧ロ内地カラノ勞力ヲ必要トスル位ニマデ、之ヲ開發シテ戴キタイ、朝鮮ノ開發ト云フコトハ、將來滿洲ニモ、北支那ニモ影響スルノミナラズ、日本ガ伸ビテ行ク大國策ヲ實現スルニハ、是ハ餘程必要デア、ルト思ヒマスカラ、ドウカ其點ニ意ヲ致サレンコトヲ切ニ希望ヲ申スノデアリマス、今少々ノ公債ノ發行ヲケチ／＼言ウテ居ルコトハ間違ッ

テ居ル、若シ私ガ其局ニ當ルコトニナレバ、是ハドシ／＼發行スル積リデ居リマス

○松山委員長 森田君ノ質問ニ對シテ、朝鮮總督府ノドナタカ御答ガアリマセヌカ

○今井田政府委員 森田君ノ經費ノ範圍内ニ於テ、現在ヨリモ多ク鐵道ヲ延長シ、ヨリ多ク勞力ヲ使用スルト云フ御趣旨ニハ全ク同感デアリマシテ、其目的ヲ達スル爲ニ如何ナル方法ヲ執ツタラ宜イカ、只今ハ直營ニシタ方ガ宜イト云フ御意見デアリマス

ガ、此點ニ付キマシテハ、從來之ヲ考究致シテ居リマス、鐵道ノ建設改良工事ト云フモノハ、年々非常ニ差ガアリマスノデ、非常ニ大キイ工事ノ場合ニ機關ヲ整ヘテ置キマスガ、小サイ場合ニハソレガ不經濟ヲ伴フト云フヤウナコトガアリマシタノデ、今日マデ直營ニ致シテ居リマセヌガ、此點ニ付テハ將來尙ホ十分ニ考究致シタイト考ヘテ居リマス

○福田委員 委員長

○松山委員長 森田君 一寸待ッテ下サイ、栗原君ガ第一番ノ通告者デアリ、拓務大臣ノ出席ヲ要求セラレテ、大臣ガ御出席ニナッテ居ラレマスカラ、此際栗原君ニ許シタイト思ヒマスガ、森田君ノ質問ガ極メテ短イナラ、森田君ヲ先ニ許シマス

○森田委員 極ク簡單ニ致シマス、今ノ御話ハ諒承致シマシタ、唯直營ガ一帶宜シイト言ウタノデアッテ、必ズト云フ意味デハアリマセヌ、又請負制度ニシテモ、其制度ヲ變ヘラレ、バ私ハ必シモ惡クハナイト思フ、今ノヤウニ特定ノ者ヲシテ交互ニ、例ヘバ甲、乙、丙、丁トアルナラバ、其四人ナラ四人ニ限定セラレテ、一人ガ一ツ取ッテ行ク、ソレデハ朝鮮ノ勞働者ノ需要力ガ少クナルカライカヌ、ソレダケノ餘ル金ヲ以テ、モウ少シ線ヲ延バシテ行ケバ、勞働者ヲ多ク使ヘルデヤナイカ、今言フ公債ノ増發ヲシテ、早く切上ゲテヤルコトモ賛成デス、同時ニ今ノヤウナ金ヲサウ云フ風ニ使ハレテ行ク方ガ宜イノデアアルカラ、其點ハ本當ニ考ヘレバサウ難カシイモノデヤナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、御承知置キ願ヒマス

○松山委員長 栗原彦三郎君

○栗原委員 色々ノ關聯シタ點、竝ニ本案ニ付テ御伺ヲ申シタイノデアリマスガ、十二時マデ十五分シカナイト云フ譯デアリマスカラ、此際澤山ノ御尋ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌカラ、唯一點ダケ拓務大臣ニ御伺ヲシテ、後ハ留保致シテ置キタイト思ヒマス、私ハ明治三十三年竝ニ四年ニ互リマ

シテ臺灣ニ參リマシテ、今ノ樞密顧問官ヲヤッテ居ル當時ノ參事官長デアッタ石塚英藏君ニ帶同セラレマシテ、總督ノ官舎デ當時ノ兒玉總督ニ御目ニ懸ッテ、臺灣ニ關スル施政ノ御方針及將來朝鮮、滿洲ト云フモノガ、亞細亞ノ平和ヲ永遠ニ維持スル上ニ於テ重大ナル關係ノアル地點ナル、日本ノ青年ハ斯ウ云フ方面ニ向ッテ、大ニ志ヲ伸ブルヤウニシナケレバナラヌト云フ御激勵ヲモ戴キマシテ、更ニ臺灣全體ニ互ッテ約半歲ノ間、視察スル上ニモ多大ノ御便宜ヲ與ヘラレテ、今尙ホ非常ナ感謝ノ念ヲ有ッテ居ル者デアリマスガ、今又御子息ガ拓務當局トシテ當ラレテ、而シテ臺灣、或ハ朝鮮其他一般拓務行政ニ非常ニ御精勵セラレルコトヲ、非常ニ愉快ニ感じテ居ル者デアリマス、隨テ私ハ大ニ敬意ヲ拂ッテ居ル者デアリマスガ、更ニ又拓務大臣ハ朝鮮ノコトニ付テハ、非常ニ御明ルイ御立場ニアラレル關係デアリマスカラ、一ツ朝鮮ニ對スル根本ノ抱負經綸ヲ御伺致シテ、私ノ御尋致ス基礎ヲ作りタイト存ズルノデアリマス、ソレガ日本ニ合邦致シマシタノハ、日本ノ策動ニ依ッタモノデハナクシテ、朝鮮人自體ノ意思ノ發動ニ依ッタモノデアリマス、例ヘバ當時ノ一進會ノ運動竝ニ之ニ關聯致シ

マシタ所ノ負操商團デアルトカ、或ハ儒林デアルトカ云フヤウナモノガ、一齊ニ蹶起致シマシテ、ドウシテモ日本ト一ツノ國ニナリタイト云フ、此希望ガ遂ニ二千萬民衆ヲ一致セシメマシテ、其實現ヲ見タノデアリマスガ、彼等ガ當時ノ目的ハ何デアッタカト申シマスレバ、一ニ仁慈ニ富マセ給フ所ノ日本ノ 天皇陛下ノ赤子ニナリタイ、更ニ又朝鮮ハ非常ニ階級制度ガヤ、コシクアリマシテ、其階級ニ生レタ者デナケレバ、殆ド人トシテ取扱ハレナイト云フヤウナ、アノ階級制度ヲ打破シタイト云フコトモノノ目的デアリマシタ、更ニ生活ノ改善ヲシタイ、モット幸福ニ此世ヲ送りタイト云フコトモ其希望ノ一ツデアリ、更ニ大強國ノ日本國民トシテ、世界ニ雄飛シテ見タイト云フコトモ彼等ノ希望ノ一ツデアッタノデアリマス、然ルニ此希望ハ、明治大帝ノ御嘉納遊バサレル所トナリマシテ合邦セラレタノデアリマスガ、其後ニ於テ果シテ朝鮮人ノ生活ガ改善セラレタカ、彼等ガドレダケ幸福ニナッテ居ルカ 陛下ノ赤子トシテ本當ニ彼等ガ考ヘタヤウナ待遇ヲ受ケテ居ルカドウカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスルト、彼等ガ失望ヲシテ、或ハ獨立運動ヲ起シ、或ハ萬歲騒ギヲ起シタト云フコトニ

付テモ、一片ノ同情ガナケレバナラナイト、私共ハ存ズルノデアリマスガ、日本ガ合邦シテ今日マデノ政治ノヤリ方ヲ拜見致シマスルト、其國土ノ改善ヲ主トシテ、民衆生活ノ改善ト云フモノハ從トセラレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、度々アノ地ニ參リマシテ、拜見致シマスルト、行ク度毎ニ鐵道ハ愈立派ニナリマス、港灣モ立派ニナリマス、道路モ完成致シマス、殆下人カ、或ハ馬デナケレバ歩ケナカッタト云フ細道ガ、今日ハ自動車道路ニナッテ「バス」モ通ッテ居ルト云フヤウナ合デアリマスガ、倭ヲ鮮人其人達ノ一個々々ノ生活狀態ヲ拜見致シマスルト、少シモ彼等ノ富ト云フモノガ増進シテ居ラナイ、彼等ノ生活ト云フモノハ、一ツモ改善セラレテ居ラナイノデアリマスガ、是ニ於テ私ハ御尋致シタイノデアリマス、當局ハ從來ノ通り朝鮮ノ國土ノ改善ヲ主トセラル、ノデアリマセウカ、尙ホ將來モ此方針ヲ以テ二千萬民衆ノ生活ノ改善、彼等ノ生活ヲ幸福ニ導クト云フコトヲ第二次ト致シマシテ、矢張或ハ開墾ナリ、或ハ道路ナリ、或ハ港灣ナリ、或ハ鐵道ナリ、斯ウ言フ朝鮮ノ國土、竝ニ其外カラ見タ所ノ形ノ改善ヲ第一トセラレテ行カル、ノデアリマスガ、是ガ私ハ

現時ニ於ケル朝鮮ニ對シテ從來ノ方針デ行クカ、或ハ又サウデナクシテ、鮮人ノ生活改善ト云フモノニ向ッテ、更ニ御考慮ヲ御煩ハシナル御考ガアルカドウカ、此點ニ付テ當局ノ抱負經綸ノ在ル所ヲ詳シク御説明下サイマシテ、私共ガ本案竝ニ本案ニ關聯致シマス所ノ質問ノ根柢ヲ作ッテ下サルヤウニ御願シタイと思ヒマス

○兒玉國務大臣 洵ニ重大ナル御質問ト思ヒマスノデ、私ノ説明デ御満足ガナリマス

カドウデゴザイマスガ、足ラザル所ハドウゾ重ネテ御質疑ガ願ヒタイ、只今朝鮮ノ併合當時カラノ事情ヲ御話デアリマシタガ、全ク御話ノ通りデアリマスルノデ、當時ノ朝鮮民衆ノ希望ニ基キマシテ、當時ノ韓國皇帝ノ切ナル希望ヲ我が 明治大帝陛下ガ御容レニナリマシテ、茲ニ併合ガ行ハレマシタノデアリマス、而シテ其當時ノ朝鮮ヲ考ヘテ見マスルト、百事荒廢ヲ致シマシテ、悉ク總テノ方面ヲ建設ヲシナケレバナラヌ、産業方面カラ政治方面、思想方面、總テノ方面ヲ、從來ノ施政ヲ打開致シマシテ、茲ニ新シイ新朝鮮ヲ建テルベク大ナル抱負ヲ以テ、建設ニ從事ヲシナケレバナラヌト云フノガ第一期ノ經過ダと思ヒマス、其第一期ノ經過ガ過ギマシテ、第二期ニナリマシ

テ、是ガ文化政治ニ移ッテ參ッタノデアリマス、文化政治ノ結果ト致シマシテハ、或ハ教育ノ振興デアルトカ、或ハ民意ノ暢達デアルトカ、或ハ其他産業ノ開發デアルトカ云フ方面ニ、主トシテ政府ガ指導的ニ立チマシテ、朝鮮民衆ノ福利増進ニ向ッテ努力シツ、今日マデ至ッタノデアリマス、而シテ最近ニ至リマシテハ、稍其時代ガ經過致シマシテ、第三期ニ入ッタト申シテ宜インデヤナイカト私ハ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ今マデノ建設、ソレカラ專ラ政府ノ指導ニ基キマシタ振興政策ハ、一轉致シマシテ朝鮮ノ民衆ヲ基礎ト致シマシタ自力更生ノ運動ニ移ルベキ時代ニ入ッテ來タと思フノデアリマス、其點ハ只今ノ御話トハ全然同感ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今日總督ニ於キマシテ作ラレテ居ル所ノ方針モ全クソコニアリマスルノデ、御承知ノ朝鮮ニ於キマスル八割ヲ占メテ居リマスル農民ガ年々食糧ノ不足、又高利貸等ニ依リマスル所ノ負債ノ苦ミ、是ガ爲ニ春季ニ至リマスレバ、食フ物モナク、草根木皮ヲ食糧ニシテ居ッタト云フ狀況カラ打開致シマシテ、之ニ生活ノ安定ヲ與ヘテ行ク、其生活ノ安定ノ與ヘ方ハ、全ク自力更生ニ基カナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ方針ヲ立テラレテ居

ルノデアリマス、然ラバ今日ノ農村ノ振興ヲシテ行ク、自力更生ヲヤッテ行ク民衆ヲシテ、自覺ノ念ヲ持タセテ眞ニ此處デ朝鮮ノ興隆ノ基礎ヲ打立テ、行ク、其農村ガ何ガ故ニ窮乏ニ陥ッテ居ルノカト申シマスレバ、申ス迄モナイ李朝以來ノ苛斂誅求ノ結果ト致シマシテ、民衆ハ自暴自棄ニ陥リ、勤儉貯蓄ノ風ハ全ク失セテ、將來ニ向ッテ何等ノ希望ヲ持タズ、其日ヲ暮シテ行クト云フヤウナ事情ガ、全ク此農村ヲシテ唯生キテ居ルト云フダケニ過ギナイヤウナ狀態ニ陥ラシメタモノト思フノデアリマス、ソレト同時ニ惡政ノ結果ト致シマシテ、是等ノ農村ニ向ッテ毫モ顧ミルコトナク、只今御話ノアリマシタ所ノ、官吏階級ノミガ懷ロフ肥シテ居ッタト云フヤウナ事情、又ソレニ對抗スベキ所ノ氣力サヘモ失ッテシマッタト云フノガ、今日マデ農村ガ疲弊シテ來タ、窮乏ニ陥ッテ來タ最大原因デアアルカト思フノデアリマス、斯ク農村ノ窮乏ノ原因ガ申上ゲマシタ通りデアリマスナラバ、之ヲ打開ラスルノニハ、茲ニ自ラ應急ノ措置ト、恆久ノ法策ト二ツガ伴ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、此窮民ノ窮乏打開策ト致シマスル應急ノ方針ト致シマシテハ、御承知ノ通りニ土木ナリ、砂防工事ナリヲ興シマシテ、窮民救濟

ニ依リマスル勞銀ノ撒布、一時的ノ救済方
法ヲ執ルコトハ無論デアリマスルシ、又根
本ノ方策ト致シマシテハ、自力ニ依ル農業
經營ノ改善ダトカ、或ハ農家ノ經濟ノ促進、
斯ウ云フコトヲ圖ラナケレバナラヌノデア
リマス、ソコデ今日此實際ノ運動シテヤ
テ居リマスノハ、所謂自力更生ノ運動ト一
言ニ申シテ居リマスガ、其ヤッテ居ル方法ハ、
ドウ云フコトヲヤッテ居ルカト申シマスル
ト、全鮮ヲ通ジマシテ上下力ヲ協セマシテ
第一ガ農村ニ於キマスル中堅人物ノ養成、
多年苦シデ居リマスル所ノ高利債ノ低利借
換、農村負擔ノ輕減、昨年モ行ヒマシタ税
利ノ幾ラカノ整理ヲ致シタ等モ、其一例デ
アリマス、自作農創設、農地令ニ依リマス
ル所謂小作生活ノ安定、ソレカラ副業ノ獎
勵、是等ノ方法ニ依リマシテ、自力更生ノ
實ヲ擧ゲントシツ、アルノデアリマス、一
面ニ於テ精神作興モ必要デアリマス、併シ
只今申上ゲマシタル通りニ、經濟上ノ救済
竝ニ農業ノ改良ト云フヤウナコトガ、全鮮
的ニ今日行ハレテ居ル、斯ウ云フコトニナ
テ居リマスルノデ、此運動ノ結果、今日ニ
於キマシテハ、各農村ガ自ラ覺メマシテ、
自ラソコニ奮起シナケレバナラヌト云フ傾
向ガ充チ滿チテ居リマスルコトデゴザイマ

スルカラ、所謂此處デ農村ノ更生ト云フモ
ノガ、年ヲ逐フテ事實ニ於テ現レテ來ルモ
ノト考ヘテ居ルノデアリマス、此農村ノ振
興ニ伴ヒマシテ、一面ニ於テハ富源ノ開發
ニ向ヒ力ヲ盡シ、又朝鮮人ノ滿洲移民ノコ
トニ付キマシテモ、茲ニ相當ノ計畫ヲ樹ツ
ルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、其外只
今政務次官ヨリ御話シニナリマシタル所
ノ、諸種ノ鑛產物ノ新シイ發見等ガゴザイ
マスノデ、是等ガ綜合致シマシテ、企業方
面ニ向ッテ段々ト新シイ芽ヲ吹イテ參リマ
スル點モ多々アリマス、其外教育方面ニ付
キマシテモ、只今御話ノアリマシタ實業教
育ノ普及デアルトカ、普通教育ノ普及デア
ルトカ、國語ノ振興デアルト云フヤウナ風
ニ力ヲ盡シテ居リマスルノミナラズ、最近
ニ至リマシテハ、是等ノ方法ヲ綜合的ニ秩
序アル方針ニ依リマシテ、實際ニ之ヲ遂行
シテ行カウト云フコトニ官民協力致シマシ
テ、努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、詳シ
ク申上ゲマスレバ色々ノ事情ガゴザイマス
ルガ、大體ニ於キマシテ、只今御話ノアリ
マシタル通りニ、今回ハ民衆ヲ基礎ト致シ
マシタ、民衆本位ノ自力更生ニ根本ヲ置キ
マシテ、今後ノ施政ノ方針ヲ樹テ、行クコ
トガ必要デアラウト、又必要デアルト、斯

ウ考ヘテ居ルノデアリマス、幸ニ致シマ
シテ從來色々ノ問題ガゴザイマシタガ、
滿洲事變後我ガ國力ノ發展ト、統治ノ方針
ノ徹底トニ依リマシテ、今日ニ於キマシテ
ハ、思想方面ニ向ッテモ從來ノ民族對立ノ
意識ハ變ジテ、內鮮融和ノ運動ニ應ズルヤ
ウナコトニモナリ致シマスルノデ、大體ニ
於テ朝鮮ノ施政ハ、今日ニ於テ程好ク進ミ
ツ、アルヤウナ風ニ考ヘテ居リマス、固ヨ
リ今日ノ儘ニ於テ之ヲ満足スベキデハナ
ク、今後一層ノ努力ヲ致スベキコトハ勿論
ノコトデアリマスケレドモ、只今申上ゲマ
シタヤウナ方針ニ於キマシテ、之ヲ遂行ス
ルニ於キマシテハ、恐ラクハ朝鮮ノ前途ト
云フモノハ、更ニ一層好良ニ向ッテ行クコト
ト考ヘテ居ル次第デアリマス、極ク粗糲ナ
御説明デ、御不満足ダト思ヒマスケレドモ、
大體御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス
○栗原委員 丁度十二時デスカラ、モウ御
尋ヲ控ヘタイト思ヒマスガ、幸ヒ大臣ガ居
ラレマスカラ、モウ一、二點簡單ニ御尋申上
ゲタイト思ヒマス、只今朝鮮ノ統治ニ關ス
ル抱負、御經綸ノ在ル所ヲ大體ニ於テ御説
明ニナリマシテ、私モ至極御同感ノ所モア
ルノデゴザイマスガ、唯今ノ拓務大臣ノ御
覽ニナリ方ハ、餘リニ只今ノ平和ノ狀態ダ

ケヲ御覽ニナッテ、樂觀ニ過ギハシナイカト
云フ憂ヲ私持ツノデアリマス、滿洲事變ノ
當時日本國民ハ勿論、世界ノ識者全體ガ、
此際朝鮮人ガドシナ動キヲ見セルデアラウ
カト云フコトハ、非常ナ關心ヲ以テ見ラレ
テ居ッタコトデアリマスガ、幸ニ賢明ナル朝
鮮民族ハ微動ガモセズニ、本當ニ我コソ日
本國民デアルト云フ態度ヲ以テ、此滿洲事
變後ニ處サレタコトヲ、吾々國民ハ寧ロ鮮
人ニ對シテ感謝シテモ宜イノデハナイカト
思フノデアリマス、然ルニ最近ニ至リマシ
テハ、其後ニ於ケル當局ノ施設ガ、鮮人ガ
日本ノ非常時ニ對シテ非常ナ好意ヲ有チ、
關心ヲ有チ、日本國民トシテノ立派ナ態度
ヲ示シタノニ拘ラズ、此好意ニ對シテ何等
報ユルト云フヤウナコトガナカッタノニ對
シテ、多少——或ハ多少デナイ、大ニ忿懣
ノ意ヲ洩ラス所ノ者ハナイカ、日本ガ今日
此非常時ニ處シ、今後ト雖モ此非常時ニ處
シテ參リマスルニ當リマシテ、或ハ滿洲ノ
將來ニ關シ、或ハ國際的關係ノ上ニ於キ
マシテモ、尙ホ——此鮮人ノ進退ト云フモ
ノガ非常ナ重大ナ關係ヲ有ツノデアリマシ
テ、私共ハ朝鮮民族ヲシテ、今マデ滿洲事
變後執ッタヤウナノ態度ヲ、何時マデモ有
タシテ行キタイ、斯ウ云フ考ノ下カラ大ナ

ル婆心ヲ有テ居ルノデアリマス、即チ第二ノ愛蘭民族ヲラシメタクナイ、是ガ私共ノ鮮人ニ對スル本當ノ希望デアリ、願デアリマス、若シ本當ニ彼等ヲシテ日本國民デアルト云フコトニ満足セシメント致スナラバ、政府ハ從來ノ方針ヲ更ニ一步ヲ進メテ、朝鮮ニ於テ行ハル、有ユル事業ノ半バヲ割イテ、本當ニ鮮人ノ經濟改善ノ方面ニ力ヲ注ガナケレバナライノデハナイカ、又一面ニ於テ朝鮮人ノ官吏ノ登用數ガ甚ダ少イ、朝鮮人ハ役人ニ成リタガル性質ヲ有テ居ルノデアアルノニ拘ラズ、今朝鮮ノ官員錄ヲ拜見致シマス、鮮人ニシテ相當ナル位置ニ在ルト思フ所ノ人ハ、甚ダ少イ、然ルニ一面ニ於テハ高等學校ヲ作り、大學校ヲ作り、人材ヲ矢鱈ニ養成シテ居リナガラ、此人材ヲ更ニ御用ヒニナライ、此處ニ將來朝鮮民族ヲシテ愛蘭民族ヲラシメルノ憂ガ伏在シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、私共ハ甚ダ悲シムノデアリマス、此點ニ關シマシテ當局ノ御意見ノアル所ヲ率直ニ御伺出來レバ結構デアルト存ジマス

ト云フコトニ付キマシテ、今日ノ實情ヲ御話申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、從來朝鮮ニ於ケル重要ナル事業ニ付キマシテハ、農業以外ノ事業トシマシテハ、大部分ハ其資本ガ内地カラ持ッテ行カレテ、又之ニ參加スル重要ナル地位ト云フモノハ、内地人ニ依ッテ占メラレテ居ッタノデアリマス、朝鮮人ノ事業經營ノ任ニ當ル者ガ少イ、又資本ノ之ニ參加スルモノガ少カッタノデアリマス、是ハ朝鮮ニ斯様ナ方面ニ向ケルベキ資本ガ少イ、又事業ノ經營ニ當ル才能ヲ十分ニ有テ居ル人ガ少イト云フヤウナ自然ノ結果カラ、斯様ナ事實ガ生ジタモノト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今御話ノヤウニ、朝鮮ニ於ケル有ユル事業ニ朝鮮ノ資本ヲ參加セシメ、又朝鮮人ノ有能ナル者ヲ參加セシメルト云フコトハ、朝鮮ノ開發竝ニ朝鮮民族ニ及ボス影響ヲ考ヘマシテ、最モ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ近年ニ朝鮮ニ起リマシタ事業ニ付キマシテハ、其資本モ朝鮮内ニ於テ求メ得ル限り、朝鮮ノ資本ヲ之ニ充當スル、又重役其他幹部ノ經營方面ニ付キマシテモ、朝鮮ノ人材ヲ出來ルタケ多ク參加セシメルト云フ方針ヲ執ッテ居リマス、或ハ政府ノ許可ヲ要スルヤウナ事業ニ付キマシテ

ハ、許可スル場合ニ斯様ナ條件ヲ附シテマデ、朝鮮ノ資本竝ニ人材ノ參加ヲ要望シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又官吏ノ登用ニ付キマシテモ、御承知ノ通り朝鮮ノ文化ノ程度ガ低イ、官吏トシテノ素養ヲ持ッテ、居ル者ガ少イト云フヤウナ點カラシマシテ、從來相當ノ地位以上ニ登用サレル者ガ少カッタノモ事實デアリマス、ソレガ爲ニ朝鮮人ニ付キマシテハ、特別任用ノ制度モ執ッタノデアリマス、最近教育モ普及シ、又相當ノ試驗ニ合格セル人材モ多々出ルヤウニナッタノデアリマスカラ、出來ルダケ朝鮮人ヲ採用スルト云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、毎年學校卒業者ヲ採用スル場合ニ付キマシテハ、朝鮮人ノ登用ニ付キマシテハ特別ナ考慮ヲ拂ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、又今日ノ實情ニ付キマシテハ、朝鮮ノ地方長官ノ十三人ノ中ノ五人マデハ朝鮮人ヲ採用シテ居ル、又各道ノ參與官、各部長ニ付キマシテモ朝鮮人ヲ採用スル、段々ト朝鮮人ヲ官吏トシテ登用スル歩合ガ殖エテ參ッテ居ルノデアリマス、全體カラ見マシテ、下級ノ官吏ハ寧ロ朝鮮人ノ方ガ多イノデアリマシテ、是レ以上ノ幹部ニナリマスレバ、今後教育ノ普及、人材ノ簇出ニ伴ッテ、益々殖エルト云フ風ニ考ヘルノデアリマ

ス、只今ノ御質問ノ御趣旨ニ副フヤウナ方針ヲ總テ執ッテ居ル譯デアリマスカラ、此點ハ御諒承願ヒタイト存ジマス

○兒玉國務大臣 能ク御承知ノ通り、朝鮮ニ對シマスル大體ノ方針ハ、一視同仁ノ御聖旨ニ基クノデアリマスルノデ、其御趣旨ヲ徹底スベク、飽迄モ努力シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、而シテ只今ノ御說ノヤウニ、段々ニ朝鮮人間ノ教育ガ進ンデ來ル、而シテ之ニ伴フベキ十分ナル地位ガナイ、即チ有識階級ノ失業者ガ多クナルト云フコト、是ガ將來ノ惱ミノ種デアルト云フコトハ、是ハ御尤ノコトデアルト私ハ考ヘマス、ソコニ若キ有爲ナル青年ガ輩出致シテ參リマスノデ、此青年ヲシテ十分ニ職業的ニモ亦意識的ニモ満足ヲ與ヘテ行クト云フコトニ、十分ナ注意ヲ致シテ行クト云フ事柄ガ、朝鮮統治ノ今後ノ最モ大切ナルコトデアルト私共考ヘテ居リマスルノデ、其點ニ付キマシテハ、只今政務總監ヨリ御話申上ゲマシタ通りニ、實業的ニモ、又官吏登用ノ點ニ於テモ、出來ルダケ是等ノ優秀ナル青年ニ對シテ満足ヲ與ヘ得ルヤウナ風ニ努力ヲシツ、アルノデアリマス、併シ尙ホ其點ニ付テ將來一層ノ努力ヲシナケレバナラヌト云フ事柄ハ、申スマデモナイコ

ト、考ヘテ居リマス、只今御心配ノ點ハ私モ同ジヤウニ其憂ヲ共ニシテ居ル所ノ點デアルト申上ゲテ置キタイト思ッテ居リマス

○栗原委員

簡單ニモウ一點ダケ御伺致シマス、日鮮融和ニ付テ當局ガ御盡力ニナッテ居ル點モ私能ク存ジテ居リマスガ、モウ少シ熱意ヲ有ッテ戴ケナイモノカト思フノデアリマス、私ハ一昨年、當時ノ岩佐憲兵司令官カラ鮮人ノ美點、朝鮮人ガ日本ニ對シテ愛國のナ働ヲ爲シタ、或ハ日本人ニ對シテ非常ナ友愛のナ働ヲシタト云フ美點、善行ダケヲ集メラレタ印刷物ヲ澤山頂戴致シマシテ、非常ニ宜イコトダト考ヘマシテ、岩佐憲兵司令官ノ御許シヲ得テ私ハ之ヲ複製致シマシテ、各方面ニ六千部 Bakar 拵エテ配付致シマシタ所ガ、從來朝鮮人ニ向ッテハ餘リ好意ヲ有ッテ居ラナカッタ方々ガ、非常ナ好意ヲ有ッテ下サッタ、新聞雜誌有ユルモノガ朝鮮ノ惡イ點 Bakar 報道シテ居ルガ、斯ウ云フ美點モ澤山アルノカト云フノデ、感謝ヲ以テ其印刷物が迎ヘラレタ例ガアルノデアリマスガ、此岩佐君ノヤラレタヤウナ善行ノモノヲ編纂シテ、之ヲ内地人ニ見セルト云フヤウナコトガ、本當ニ日鮮融和ノ上ニ於テ非常ニ大切ナルコトデアルト思フ、然ルニ御當局ノ方ニ於テハサ

ウ云フヤウナコトニ付テヤッテ居ラレナイノデハナイカト思フノデアリマスガ、或ハ私共ノ見聞ノ足ラザル所デ、當局ハソレ以上ニ御ヤリニナッテ居ルノカモ知レマセヌガ、サウ云フ點ニ關シテハ、ドウ云フヤウナコトヲヤッテ居ラレマスカ、日鮮ノ融和ヲ缺イテ居ル所以ノ根本ハ、御互ニ能ク眞情ヲ理解シナイト云フ點ニアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、當局ガサウ云フ方面ニ於テ現ニ執ラレツ、アリマスル事柄ニ付テ、御説明ヲ願ヘマスレバ結構ダト存ジマス

○今井田政府委員

指導者ノ地位ニ立ッテ民衆ヲ指導スル場合ニ於キマシテハ、民衆ノ美點モ十分之ヲ發揚シマシテ獎勵セネバナラスノデアリマス、同時ニ又民衆ノ有ツ缺點ニ付キマシテハ、之ヲ互ニ相戒メテ行クコトモ、是ハ當然ノ事デアリマス、ソレデ只今御話ノ善行ヲ益々發揚シテ、之ヲ獎勵スルト云フコトニ付テハ、全ク御同感デアリマシテ、岩佐憲兵司令官ガ偶々朝鮮人ノ善行美談ヲ集メテ、ソレヲ印刷ニ付サレマシタガ、斯様ナ印刷物ヲ一般ニ配付スルト云フコトハ、必シモ多クノ機會ニヤッテ居リマセヌ、併ナガラ例ヘテ申シマスレバ、滿洲事變後ニ於キマシテ、滿洲ニ於ケル朝鮮人ガ、非常ニ我軍ノ行動ヲ助ケ、一般ノ

民衆ヲ救済スル爲ニ、身ヲ挺シテ難ニ當ッタ、所謂朝鮮三勇士ト云フ美談モアリマスルガ、斯様ナ美談ハ之ヲ集録シマシテ、各方面ニ配付スル、一般朝鮮人ノ國民教育ノ資料トシテモ各方面ニ配付シテ居ルノデアリマス、又是等ノ表彰ニ付キマシテモ出來ルダケノ方法ヲ執ッテ居ルノデアリマシテ、斯様ナ特殊ノ善行美談ガアリマシタ場合ニハ、之ヲ適當ニ表彰シ、之ヲ一般ニ紹介スルト云フコトニ付テハ、常ニ怠ラズニ努メテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ缺點ニ付キマシテモ、或ハ有ユル方面ニ於キマシテ互ニ之ヲ戒ムルヤウニ出來ルダケ努力ヲ致シマシテ、斯シテ國民性ノ陶冶ニ全力ヲ注イデ居ルヤウナ次第デアリマス、趣旨ニ於キマシテハ只今御話ノ通りニ、一層努メテ参リタイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

○栗原委員

私ハ昨年ノ通常議會ニモ、一昨年ノ通常議會ニモ、滿洲ニ於テ必要トスル勞働者——急ニ必要トスル澤山ノ勞働者ガアリマスカラ、鮮人ヲ成ベク多ク之ニ振向ケル方法ヲ探ッテハドウカト云フ質問書ヲ二回ニ互ッテ提出致シテ居リマス、ソレハ一昨々年以來、滿洲事變方起ッテ以來、滿洲ニ於ケル勞働者ガ軍事的ニ採用サレル者

ガ非常ニ多クナッタ結果ト致シマシテ、滿洲ノ内部ニ於ケル農業勞働者ノ數ガ激減シテ、現ニ昨年ニ於キマシテモ百萬町歩以上ノ勞働者不足ニ依ル不仕付場所ガアッタ、ソレガ滿洲ニ於ケル農産物ノ減收ノ原因トナリ、滿洲不況ノ原因トモ相成ッタノデアリマスガ、是ノミナラズ、滿洲ニ於テハ本年ハ一億六千萬圓、昨年ガ一億五千萬圓、一昨年ガ一億三千五百萬圓ト云フ非常ナ土木工事が起リマシテ、之ニ要スル勞働者ノ數モ亦二十萬人ヲ下ラナイノデアリマスガ、是等ノ勞働者ノ數ハ滿洲國、關東軍、或ハ關東廳等ニ於テ協定致シマシタ結果、十九ノ土木請負業者ガ合セテ僅ニ一萬何千人ヲ天津、青島等ニ於テ募集スルコトヲ許シタニ拘ラズ、事實ハ十五、六萬人ノ多數ノ此山東方面カラノ勞働者ガ入ッテ参ッタノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ關東軍等ニ於テハ、是非鮮人ヲ餘計ニ入レタイト云フ考カラ、此普通土木ノ設計ノ中ニハドノ鐵ヲ使フトカ、ドノコンクリートヲ使フトカ、ドノ木材、何寸角ヲ使フト云フコトガ指定サルベキモノデアアルニ拘ラズ、更ニ此工事ニハ朝鮮人ヲ何人使ヘト云フ指定マデアルノニ拘ラズ、是ガ實行サレテ居ラナイノデアリマ

ス、唯此方面ニ於テホンノ少數ノ勞働者ガ使ハレタバカリデアッテ、アノ何十萬ヲ要スル所ノ此滿洲ノ土木工事ニ於テハ、再ビ此支那ノ山東苦力ガ澤山入ッテ來タノデアリマス、昨年モ同様ナ結果ヲ取ッタノデアリマスガ、斯ウ云フノニ對シテモット鮮人ガ此機會ニ滿洲ニ進出シテ行クコトガ出來ルヤウナコトニ付テ、ドウ云フ御配慮ヲナサッテ居ラレルノカ、或ハ別ニ本年モ何等ノ之ニ關スル御考慮ナクシテ、昨年ト同ジヤウニ、矢張青島方面カラ、或ハ天津方面カラ支那ノ苦力ヲ數十萬傭入レナケレバナラナイト云フヤウナコトニナリマセウカ、此點ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○**兒玉國務大臣** 御承知ノ通りニ滿洲ニ於キマスル約七、八十萬ノ朝鮮人ハ、從來主ニ水田ノ開墾ニ從事シテ居ッタモノガ多イノデアリマスガ、東三省ノ官吏ノ壓迫ヲ蒙リマシテ、隨分苦シイ氣ノ毒ナ生活ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、滿洲事變後其點ニ付テハ、大ニ改メラレマシテ、今日ニ於テハ大體ニ於テ幸福ナ生活ヲ營ミ得ルヤウナ計畫ニナッテ來テ居ルノデアリマス、而シテ總督府ニ於キマシテモ、從來トモ此在滿鮮人ニ對シマシテハ、教育ノ點、或ハ金融ノ點、或ハ衛生、醫療ノ點ニ付テ百萬近クノ金

ヲ使ヒマシテ、世話ヲ焼イテ居ッタノデアリマスケレドモ、此親切ナル鮮人ノ保護ニ付キマシテハ、今後モ毫モ變ルコトハナイト思ッテ居リマス、而シテ朝鮮總督府ニ於キマシテモ、成ルベク多數ノ朝鮮移民ヲ希望シテ居リマスノデ、本年ニ於キマシテハ、取敢ヘズ豫算ノ上ニ約二千戸ノ朝鮮移民ヲ計上シテアルヤウナ譯ニナッテ居リマス、將來此朝鮮人ノ移民ニ付テハ、モウ少シ大規模ノ計畫ガアル、其方法ヲ立ツベク今日研究中デアルノデアリマス、恐ラクハ餘リ遠カラザル間ニ於キマシテ、其具體案ヲ得テ、之ヲ實行スル機會ニナリ得ルコト、考ヘテ居リマス、斯ク致シマスレバ、今日ノ如ク分散的ニ、總督府、外務省ガ協力ヲシテ鮮人ノ保護ニ當ッテ居リマスルノデアリマスガ、更ニ滿洲ニ於キマスル朝鮮人ニ對スル世話ハ一層燒クコトガ出來テ、而シテ茲ニ朝鮮人ノ安全ナル移民ガ行ハレルコト、考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ此勞働方面ノコトデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ朝鮮ノ國境方面ニ於キマシテモ、ドウモ朝鮮ノ勞働者ハ支那人ニ壓迫サレル所ノ氣味ガアリマスノデ、總督府ノ方ニ於テハ、之ニ對シテ多大ノ關心ヲ拂ヒマシテ、漸ク此朝鮮人勞働者ノ安定ヲ得ルヤウナ事

實ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ、此滿洲ニ於キマシテ、朝鮮人ト支那ノ苦力トノ勞働力ノ點カラ見マスルト云フト、遺憾ナガラドウモ支那ノ苦力ノ方ガ經濟的ニモ、又勞働力カラ申シマシテモ、優秀ナ點ガアルガ如ク見ラレマス、此間大連ノ其方面ニ關シマスル建築業者ノ組合長ノ人カラ話ヲ聞キマシタガ、成ルベク朝鮮人ヲ使ヒタイ、朝鮮人ヲ使フノハ當リ前デアルト云フコトヲ考ヘツ、ヤリマスケレドモ、ドウモ實際ニ於テ使ッテ見ルト云フト、使ヒ惡ク、モアリ、又安定モシナイト云フヤウナ事情ガアルノデ、鐵道工事等ニ付キマシテ朝鮮勞働者ヲ使フコトニ甚ダドウモ苦痛ヲ感ジテ居リマス云フトコトヲ惣ヘテ居ッタノデアリマスケレドモ、大體ニ於テ經濟的ニ見リモ、支那ノ苦力ヲ使ッタ方ガ經濟的デアルト云フ計算ニナリ得ルト思ヒマスノデ、隨テ茲ニ朝鮮ノ勞働者ヲシテ之ニ對抗シテ働カシムル、之ヲ採用シマスル方面、殊ニ之ヲ監督スベキ所ノ方面ニ於キマシテ、特別ノ茲ニ思遣フ必要トスル點ガ多アルト思ッテ居リマス、今日ニ於キマシテハ、朝鮮ノ勞働者ヲ如何ニ鐵道工事等ニ使ッテ居リマスカ、詳シク私ハ承知致シマセヌガ、大體ニ

於テ只今ノヤウナ事情ニ相成ッテ居ルト思ッテ居リマス、併シ總督府ニ於キマシテハ、鮮人保護ニ對シマシテハ、只今申上ゲタヤウナ施設ヲ致シテ居リマスルシ、將來朝鮮人ノ移民ニ付キマシテハ、積極的ニ之ニ進出セントスル大計畫ヲ有ッテ居リマスノデ此點ニ於キマシテハ、從來ヨリハ改善サレテ行ク、斯ウ思ッテ居リマス

○**栗原委員** 大體ニ於テ拓務大臣ノ抱カレテ居ル御方針ハ吾々ノ考ヘテ居ル所ト合致スル所ガ多ク、甚ダ愉快ニ存ジマス、唯遺憾トナガラ其實行ノ甚ダ遅々タルコトヲ遺憾ト致シマスルガ故ニ、拓務大臣ニ對シテハ一層ノ御奮勵ヲ希望致シマシテ、拓務大臣ニ對スル質疑ハ是デ打切りマス、更ニ政府委員竝ニ櫻井政務官ノ抱負御經綸ヲ伺フコトニ致シタイト思フノデアリマス

○**松山委員長** 本日ハ是ニテ散會致シマス、次ハ八日ノ午前十時カラ開ク積リデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

午後零時二十分散會

昭和十年三月六日印刷

昭和十年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社